

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第87期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第86期 第1四半期連結 累計期間	第87期 第1四半期連結 累計期間	第86期
会計期間	2018年4月1日 2018年6月30日	2019年4月1日 2019年6月30日	2018年4月1日 2019年3月31日
売上高 (千円)	629,002	635,496	2,474,713
経常利益 (千円)	25,934	34,071	51,314
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	16,096	20,305	115,000
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	118,205	6,030	212,489
純資産額 (千円)	2,614,727	2,698,574	2,709,012
総資産額 (千円)	3,846,191	3,904,372	3,832,970
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	7.83	9.88	55.94
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	65.9	67.1	68.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	56,585	54,857	246,241
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	7,000	23,923	48,204
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	13,268	6,669	104,624
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	469,334	647,102	622,838

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態

(総資産)

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して71百万円増加し3,904百万円となりました。主な要因は、投資有価証券が20百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金(純額)が60百万円及び現金及び預金が28百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して81百万円増加し1,205百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が17百万円減少した一方で、賞与引当金が39百万円、未払法人税等が14百万円及び買掛金が13百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して10百万円減少し2,698百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が4百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が15百万円減少したことによるものであります。

経営成績

当社グループの2020年3月期第1四半期の売上高につきましては、前年同四半期と比較して管瓶の売上が増加したため昨年実績を若干上回り、売上高635百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

利益面につきましては、売上高が増加した事と、売上原価に占める人件費や減価償却費等の固定費の比率が減少したことにより、営業利益23百万円(前年同期比45.5%増)、経常利益34百万円(前年同期比31.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円(前年同期比26.1%増)とそれぞれ増加しました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には647百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、54百万円(前年同四半期は56百万円の資金増加)となりました。これは主に売上債権の増加60百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益34百万円、減価償却費13百万円、賞与引当金の増加39百万円及び仕入債務の増加13百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、23百万円(前年同四半期は7百万円の資金減少)となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる収入57百万円があった一方で、定期預金の預け入れによる支出65百万円及び有形固定資産の取得による支出15百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6百万円(前年同四半期は13百万円の資金減少)となりました。これは主に新規の長期借入金による収入50百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出40百万円及び配当金の支払による支出12百万円によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	2,142,000	-	107,100	-	582

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 86,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,051,400	20,514	-
単元未満株式	普通株式 4,400	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	20,514	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が43株含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	86,200	-	86,200	4.02
計	-	86,200	-	86,200	4.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人元和による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	583,661	612,078
受取手形及び売掛金(純額)	2 597,759	2 658,231
有価証券	234,758	240,758
商品及び製品	317,768	314,028
仕掛品	3,393	30
原材料及び貯蔵品	48,422	46,122
未収入金	30,581	33,506
その他	4,256	5,096
流動資産合計	1,820,602	1,909,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	344,611	345,889
機械装置及び運搬具(純額)	90,756	91,705
土地	442,518	442,518
建設仮勘定	11,304	7,164
その他(純額)	4,250	3,839
有形固定資産合計	893,441	891,119
無形固定資産		
無形固定資産	2,503	2,421
投資その他の資産		
投資有価証券	1,070,100	1,049,441
繰延税金資産	12,154	17,181
その他	41,785	41,972
貸倒引当金	7,617	7,617
投資その他の資産合計	1,116,422	1,100,978
固定資産合計	2,012,367	1,994,519
資産合計	3,832,970	3,904,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	131,516	144,937
1年内返済予定の長期借入金	135,400	133,000
未払法人税等	14,472	29,324
未払事業所税	7,259	1,742
賞与引当金	59,780	99,104
その他	106,278	123,434
流動負債合計	454,706	531,542
固定負債		
長期借入金	106,800	119,000
繰延税金負債	258,583	240,854
役員退職慰労引当金	166,270	168,746
退職給付に係る負債	108,781	116,834
資産除去債務	28,816	28,820
固定負債合計	669,251	674,255
負債合計	1,123,958	1,205,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,903,399	1,908,286
自己株式	33,848	33,848
株主資本合計	1,977,233	1,982,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	652,471	636,922
その他の包括利益累計額合計	652,471	636,922
非支配株主持分	79,307	79,531
純資産合計	2,709,012	2,698,574
負債純資産合計	3,832,970	3,904,372

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	629,002	635,496
売上原価	502,193	500,581
売上総利益	126,809	134,915
販売費及び一般管理費	110,793	111,608
営業利益	16,015	23,306
営業外収益		
受取利息	7	21
受取配当金	9,186	9,458
受取賃貸料	1,789	2,005
その他	1,085	1,077
営業外収益合計	12,069	12,563
営業外費用		
支払利息	752	518
賃貸費用	1,397	1,279
営業外費用合計	2,150	1,798
経常利益	25,934	34,071
税金等調整前四半期純利益	25,934	34,071
法人税、住民税及び事業税	23,466	29,572
法人税等調整額	15,173	17,080
法人税等合計	8,292	12,492
四半期純利益	17,642	21,578
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,545	1,273
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,096	20,305

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	17,642	21,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,563	15,548
その他の包括利益合計	100,563	15,548
四半期包括利益	118,205	6,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,659	4,756
非支配株主に係る四半期包括利益	1,545	1,273

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,934	34,071
減価償却費	15,062	13,680
賞与引当金の増減額(は減少)	38,846	39,324
貸倒引当金の増減額(は減少)	24	56
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,348	2,476
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,690	8,052
受取利息及び受取配当金	9,194	9,479
支払利息	752	518
売上債権の増減額(は増加)	2,244	60,527
たな卸資産の増減額(は増加)	8,369	9,403
未収入金の増減額(は増加)	15,988	2,924
仕入債務の増減額(は減少)	20,007	13,420
未払金の増減額(は減少)	698	-
未払消費税等の増減額(は減少)	10,406	13,325
その他の支出	1,407	3,313
小計	65,749	58,082
利息及び配当金の受取額	9,190	9,463
利息の支払額	758	521
法人税等の支払額	17,596	14,719
法人税等の還付額	-	2,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,585	54,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	55,256	65,009
定期預金の払戻による収入	53,503	57,505
有形固定資産の取得による支出	4,594	15,665
投資有価証券の取得による支出	558	567
その他の支出	95	187
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,000	23,923
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	50,000
長期借入金の返済による支出	46,800	40,200
配当金の支払額	12,051	12,771
非支配株主への配当金の支払額	1,050	1,050
その他の支出	3,367	2,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,268	6,669
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	36,317	24,264
現金及び現金同等物の期首残高	433,017	622,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	469,334	647,102

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	127,397千円	119,839千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	756千円	812千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
裏書譲渡手形	13,405千円	3,279千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
現金及び預金勘定	565,281千円	612,078千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	152,689	205,733
有価証券勘定	56,741	240,758
現金及び現金同等物	469,334	647,102

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,418	7.50	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	15,418	7.50	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第1四半期連結会計期間末(2019年6月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(2019年6月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(2019年6月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円83銭	9円88銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	16,096	20,305
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	16,096	20,305
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,055	2,055

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

監査法人 元和

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 由久

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中川 俊介

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。